



気まぐれ日記



白と黒の詩



版画のはなし



催し案内 お楽しみ



拝受返信 おたより

▲表紙のページへ ▲更新あんないへ



気まぐれ日記

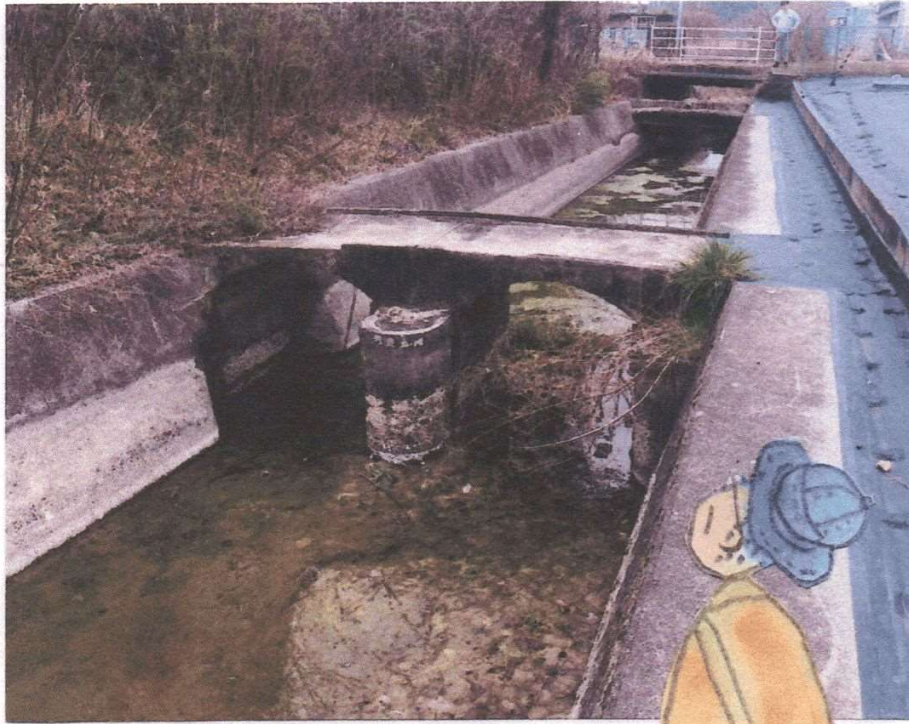
2026.03

- 1 2 3 4 5 6 7
- 8 9 10 11 12 13 14
- 15 16 17 18 19 20 21
- 22 23 24 25 26 27 28
- 29 30 31

この月の日記は日付をクリックしてください。

ほかの月の日記は下より選択してください。

選択してください ▼



千鶴川から柔道用水の取水口。

おはよう
3月19日(木)
今日は何れも79年5月6日(木)
教室・イール・いぬめじ3F

「ええっと、きのうは」のページをひっくり返して
4ページに。いつもは2ページ。何も1日を2
ページと決
めて暮らすこ
海ふる高
曲る角



やはり、取材に出ると
得ることが多い。こな
いだからの取材のスケ
ッチは、まず発注先の
西播磨県
民局土地
改良セン
ターへ。
みたか

いるのではない。1ペ
ージの日もあれば、時
として10ページになる
日もある。

坂池

まのう取材を訪ねた赤穂市上郡の山伏峠手前・扇山温泉(兵庫県)の(90)をい



あつと、まのうのことき時系列に、つづりませ。

10減の 体重75.4kg、体温36.1度、血圧122(高)(74)倍、脈拍60(分)。



朝 スムシ、フリル、トラス、重層(油/みじん)、岩津ネギ、エキ、かやくごはん

赤穂へ 播但線・野姫路で姫新線に乗り替えて「本巻野」9時30分着で、西播磨国府高土地改良センターの合田田弘さんと立花香俊さんと、赤穂へ。まのう坂池。平家落人の伝説

が残っています。

しかし周囲は砕石場が崩れまわっています。「国境」といのは、いろいろ」と合田さん。

次は海へりに物動して防瀬堤。赤穂線の「てんわ」。「備前福浦」あたり。

そして千種川水系の赤穂用水をたどって、赤穂市内にもどってお昼。



赤穂飯店 1000円

昼

そして赤穂市周世で、ジャンボピーナツを栽培されて、この秋から売り出そうとされている尾崎治男・自治会長さんに会いました。



その前に、赤穂城近くの「赤穂のお菓子」カフェ・プリエールヒヤンで「タマゴ・プリン」を買いました。

そして、山陽本線・竜野駅まで送っていた

心いて姫路にもどりました。途中、まのう開業の「千柄山平和公園」駅を通りました。帰宅すると、中塚勝美さんから「千柄山平和公園」駅に行ってくださいのお願いがき。84歳、その好奇心、行動力に感服します。

晩 木谷典義さん、峰子さんと鶏団子、鍋を囲んで。



木谷さん 月1回行ける「ターマの」に、木谷さんの運動器が好きなだけ使えて700円です。